



(旧和商)

# 和商同窓会会報



(新和商)

(発行所) 和歌山市砂山南3丁目3-94

県立和歌山商業高校内 TEL 436-6456

社団法人和商同窓会

(第34号) 平成19年3月1日(木曜日)

## 伝統から生まれる創造性

理事長 小川 武

和商同窓会の皆様方には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。



これは、実力とともに学校の姿勢や生徒の生活態度が評価されたことと思いきや、阿倍首に存じます。

昨年改め教育イジメのことが話題に上った年でありました。阿倍首相が誕生し、まず教育基本法の改正がありました。教育基本法は私が学校に行っていた頃成立した法律であり、私の頃は学校や生徒の様子も様変わりしております。今の学校は「美しい国」を重視することは、活躍とともに和商の生徒は「礼儀作法がよく、高校生らしい、元気があふれる」と評判をよく聞きます。このように、50年ぶりの甲子園、選抜は70年ぶりと誠に記念すべき出場となり、卒業生あげて応援したいと存じます。21世紀に2年連続候補となった

また、平素は当会活動に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

まず野球の話になるのですが、選抜大会への出場おめでとうございます。50年ぶりの甲子園、選抜は70年ぶりと誠に記念すべき出場となり、卒業生あげて応援したいと存じます。21世紀に2年連続候補となった

## 「タスキをつなぐ」



から1年生へと継承されている



和商同窓生の皆様方には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より本校教育の充実発展のため、物心両面のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

本館二階の玄関ホールは、両側にガラス製の陳列棚があり、カップやトロフィー、表彰額が所狭しと並べられ

「重み」に驚きました。少し注意してみると年度が連続しているものが多く、これは、首尾良く「力」が3年生から2年生へ、2年生

導が行われています。不透い取組が生まれ、地域の活性化につながると思っています。最後にありますが、保護者の皆様、学校関係者など、感性を磨き、様々な場面で地域社会に参加していただきたく存じます。この充実、発展を祈念申し上げます。ご挨拶とします。

## 「ありがとうございました。」

生徒会長 多田有彩

また、今年もあつという間に過ぎていきました。今年の私は特に、生徒会長として和商に深く関わらせて頂くことができて、今までの和商生活以上に忙しく、充実したものになったので、時が過ぎるのがとても早く感じられました。

また、今年もあつという間に過ぎていきました。今の私は特に、生徒会長として和商に深く関わらせて頂くことができて、今までの和商生活以上に忙しく、充実したものになったので、時が過ぎるのがとても早く感じられました。

## 新役員 (新56期生) きまる。

- 1組 水口 和哉 多田 有彩
- 2組 ◎吉信 里香 ◎濱畑 千夏
- 3組 岡田 茉希 宮本 彩
- 4組 上田 和摩 和田 崇史
- 5組 岡畑 里奈 畔取 志帆
- 6組 木村 円香 桑畑 尚代
- 7組 木村 亜紗子 丸石 智春
- 8組 酒田 裕衣 坂本 朋美
- 9組 小山 由朱里 四田 菜穂子

◎印は代表評議員

を味わいました。そして、家に電話をかけて8位入賞が確認できたときの感動。今もって身震いしそうです。18年間、途切れることなく都大路に選手を送り出してきた高橋恭代監督の悲願達成の瞬間でもありました。全国に私立の強豪ひしめく世界で、もはや校区の通学生ばかりでチーム編成した公立高校の入賞はないので、感慨もひとしおです。言葉に尽くせないくらい、粘りのある高橋監督の指導が日々続けてこられたことに敬意を表したいと思います。もちろん、片時も目標を見失わずに毎日20kmを走り抜いて結果を出した一枚の表彰状には経験の重

部員達の頑張りや褒めたいと思えます。ここでも、先輩から受け取った意地のタスキを後輩につないでいくのがかかって全生徒の前で伝達しなくてはならないと思えます。なぜなら、みんな祝福できるし、仲間との成果に触れることによる、新しい目標が生み出されるからです。

## 本校の進路動向

352名の卒業予定者のうち進学希望者が269名、就職希望者が83名。年々、就職希望者が減少し、23%・進学希望者が76%と数の上では進学校と呼ばれてもおかしくない数字となっている。就職については求人件数が県内96社・県外120社と厳しい状況が続いている。進学は一般入試での受験者はほとんどなく、指定校推薦・公募推薦が大半である。

平成19年1月12日現在

学科名	卒業生			就職者			縁故			公務員			就職者合計		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
情報処理科	23	54	77	3	13	16	0	1	1	0	0	0	3	14	17
会計科	51	142	193	6	34	40	3	1	4	0	0	0	9	35	44
国際経済科	15	67	82	0	7	7	0	0	0	0	0	0	0	7	7
合計	89	263	352	9	54	63	3	2	5	0	0	0	12	56	68

学科名	四年制大学			短期大学			専門学校			進学者合計		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
情報処理科	7	16	23	1	12	13	7	9	16	15	37	52
会計科	20	19	39	0	33	33	12	37	49	32	89	121
国際経済科	8	15	23	0	19	19	4	19	23	12	53	65
合計	35	50	85	1	64	65	23	65	88	59	179	238

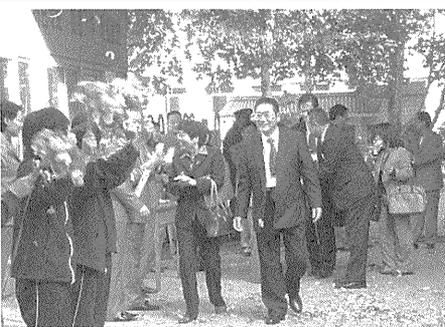
す。行き詰まって抱え込んだときはなだめてくれたり、笑わせて元気づけてくれたり、私の生徒会活動にとっで、大きな存在でした。生徒会の先生方には一番近くで私達を見守り、私が頼りないときは、引張っていただいていた。他の先方も行事に協力して下さり、温かく見守って下さりありがとうございます。これから私達の後を継いでいってくださる後輩達には、



# 済南技術学院友好訪問

中華人民共和国山東省 まで4日間の日程で田井伸と和歌山県・済南市と和歌山市が友好都市関係であることから、平成16年の9月に本校創立100周年(周院長)の商貿分院(崔校長)を友好訪問した。訪問はまず、済南市労働社会保障局(局長他5人)を親善訪問した。そして、平成17年10月に同校より親善訪問の返礼訪問を受け、この時に「友好交流意向書」を交換し、翌年同校を訪問することを約束した。

そして、平成18年11月1日(水)から11月4日(土)「済南技術学院」(生徒数



熱烈歓迎



友好交流協議書調印



授業風景

組んでいた。同校は専門高校として企業への即戦力となる人材を養成することが目的で40余りの分野に分かれて高度な実習が行われていた。また、済南市内の商業施設や観光地見学して経済・文化に触れることができた。日程が過密であったため、視察時間不足であったが、周院長、崔校長を中心に留学に関して具体的な話ができた。双方の学校の立場や期待(交流の内容)にかなりの開きがあることがわかった。今後はこの開きについての検討を重ね、対応策を講じなければならぬ。また、同校が創立50周年の式典を開催する200

8年に田井校長が来賓として招聘を受け、その返礼として周院長を来年度本校にお迎えしたい旨を伝え、快諾をいただいた。我々が熱烈歓迎を受けたので来年度は手厚い歓迎をしたい。

中国親善訪問団  
笠松 勝美

## 第六回新七期同期会

平成五年一月に第一回もあり、近畿圏はもとより、を開催してから早や十三年、遠く東京や神奈川、岐阜、始めに時は五十才前半で山口からも来てくれました。の、もう六十才後半となり、出席者も少なくなる前の思い出せない人や、あのではと心配しております。たが、理事長はじめ来賓の方々六名を含めて百十六名、先生方も御高齢になられ三影、百名以上だと遅刻者名とちょっと淋しい気もしましたが、生徒は案内発送した三割の出席がありました。お馴染みの顔ぶれの他、卒業以来初めての出席者

今回初めて集合写真を撮りましたが、理事はじめ来賓の方々が、遅刻者が出た時間通り運ぶかと心配しましたが、全員定刻集合(さすが和商生)予定より三十分早く開会、たっぶが、歌い足りない人や、しゃべり足りない人もいた事と、思います。アトラクションには、よさこい踊りの華酔組に来ていただき大いに盛り上がりました。

次回(平成二十年)卒業五十周年です。今の健康状態を維持し、今回同様百名以上の賑やかな同期会にしたいと思っております。



## さらなる精進を！ 邦楽部

### 邦楽部

和商同窓会の皆様方には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

本校邦楽部は、昭和40年に同好会「むらさき会」として発足し、昭和43年に「邦楽部」としてクラブ昇格を認められ、現在に至っています。

平成18年12月現在、部員数は18名(1・2年生)です。

高邦連の定期演奏会は、入

で、月曜日から金曜日まで毎日、和商会館2階をお借りして練習をしています。また、毎週火曜日には、和歌山県邦楽界重鎮の菊数好子先生にご指導に来ていただいております。

主な活動は、4月の新入生歓迎会、9月の和歌山県高等学校邦楽連盟(略称「高邦連」)の定期演奏会出演、10月の文化祭での演奏です。

賞を目指して夏休みもほとんど毎日練習しました。3年前に初の5位入賞をしましたが、今年度はそれを上回る3位入賞を果たすことができました。

部員数低迷の時期もありましたが、日々の地道な活動が今回の賞に結び付いたと自負しています。

これからも、日本の伝統音楽を守り続けることに誇りを持ち、ますます精進をしたいと思います。

竹内 幸代

## センバツ出場おめでとう



センバツ出場の吉報に、歓喜する選手たち

第79回選抜高校野球大会の選考委員会で1月26日、県内からは県立和歌山商業高校の出場が決まった。センバツ出場は70年ぶり3回目。選手らに大きな喜びが広がった。

創部は大正10年。戦前は春夏合わせて4度の甲子園出場を果たしているが、戦後は昭和26年、32年の2度のみで、甲子園から遠ざかっていた。

昨秋の近畿大会予選の県大会決勝では、甲子園の常連校、智弁和歌山を4-0で完封し、初優勝。近畿大会出場を果たし、夢を大きく引き寄せた。

この日、21世紀枠には選ばれなかったが、その約40分後にもたらされた一般選考の出場の知らせに、選手らの間に広がっていた重苦しい雰囲気が吹き飛んだ。

## 全国高校駅伝 女子

### 悲願達成

## 県和歌山商が 大健闘の8位入賞



8位入賞の県和商